

① 請者 おおだし 大田市	② タイプ 地域型 / シリアル型 A B C D E
---------------------	-----------------------------------

③ タイトル

(ふりがな) いわみのかざんがつたえるゆうきゅうのれきし
～ “じょうものもり” “しろがねのやま” とであえるたびへ～

石見の火山が伝える悠久の歴史 ～ “縄文の森” “銀の山” と出逢える旅へ～

④ ストーリーの概要 (200字程度)

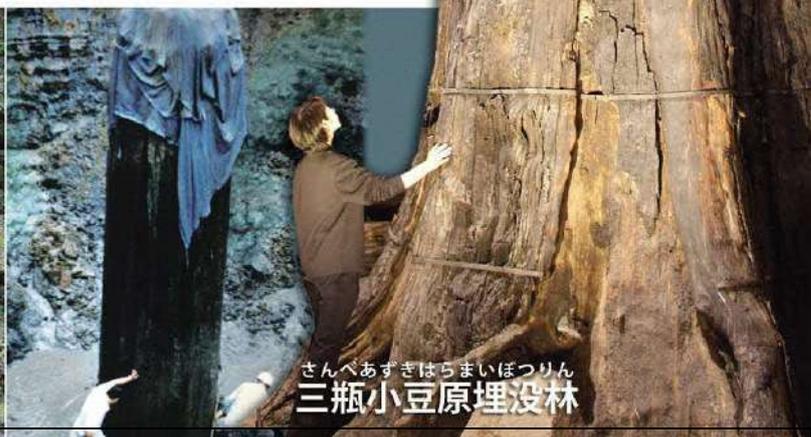
地下へ続く階段を下りていくと、目の前にそびえ立つ幾本もの巨大な木——。三瓶山の噴火で地中深くに埋まった縄文時代の木々が、悠久の時を超え、当時のままの姿を現しているのです。

火山大国である日本。

人々を脅かす噴火ですが、石見の国おおだには様々な恩恵をもたらしてくれました。かつて世界に「ジパング (日本)」の名をとどろかせた石見銀山の鉱床もマグマから生まれたのです。

そして火山が育んだ豊かな大地は生活を潤してくれました。

暮らしの根っこに火山の歴史が息づくまち、石見の国おおだ。ここには火の国のめぐみと出逢える旅が待っています。



令和元年度申請タイトル

火山からの贈り物

～縄文の森に出会い、大地の脈動を感じる 石見の国おおだ～

変更内容

【ストーリーの変更】

山陰地方に火山があることはあまり知られていないが、島根県大田市には活火山の三瓶山があり、有史以前には3つの時代に大きな火山活動があった。その全容を説明するとともに、それぞれの火山活動が何をもたらしてくれたのかという視点に立ち、様々な事象をとらえ直した。火山大国である日本だが、災害というマイナスの側面だけではなく、“キセキ”のめぐみというプラスの側面があることを伝えられるよう構築した。

【構成文化財の変更】

◇ストーリーの見直しにより以下のとおり変更。

- ・「三瓶山自然林」「姫逃池のカキツバタ群落」を削除。

三瓶自然林は、三瓶山に含むため削除。姫逃池のカキツバタ群落は、ストーリーの位置づけとして難しいため削除した。

- ・「三瓶そば」「龍巖山の龍岩」を追加。

三瓶そば・龍巖山の龍岩は、前回申請時より追加を検討していたため今回追加した。

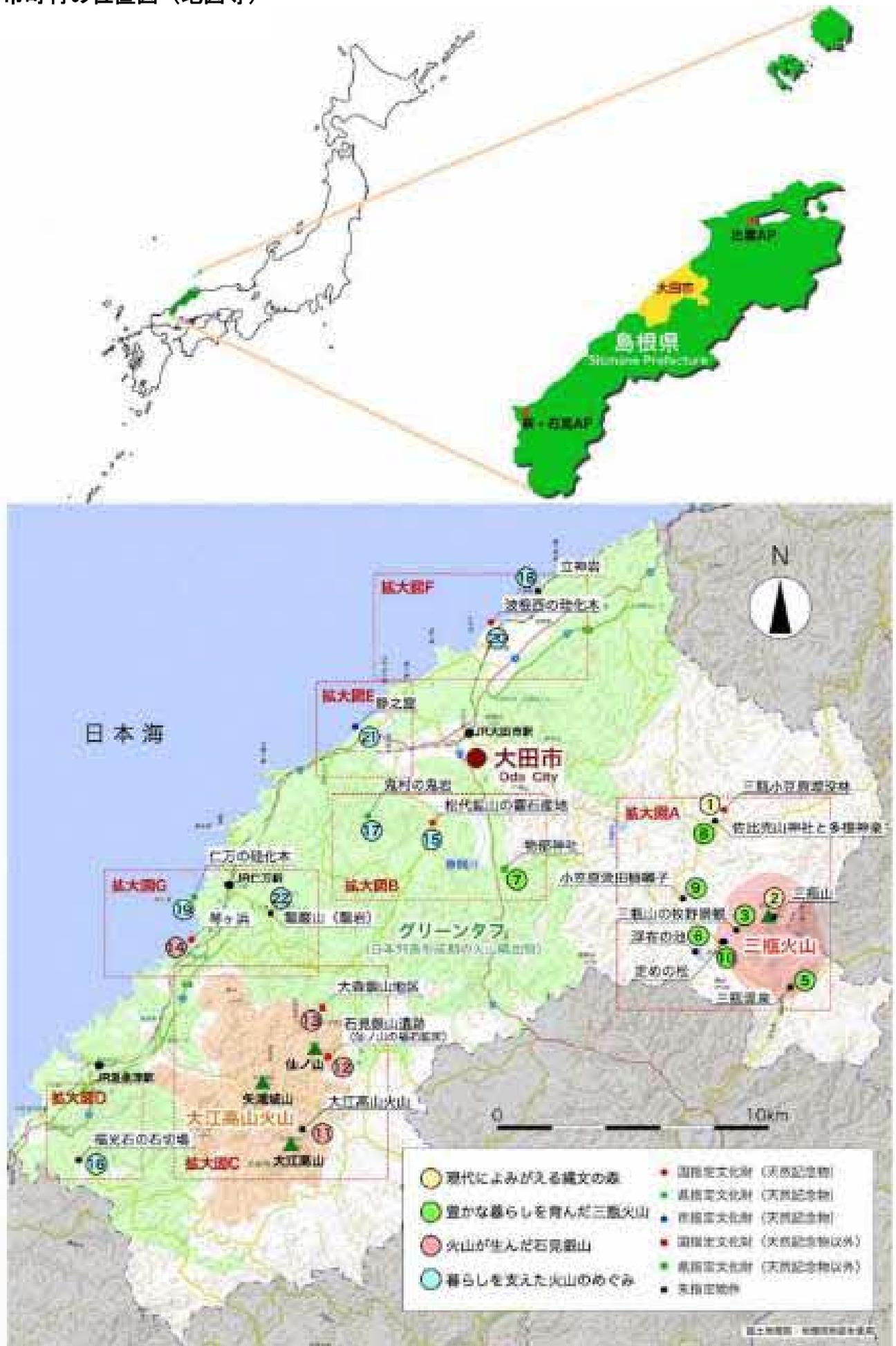
◇構成文化財の表記の変更。

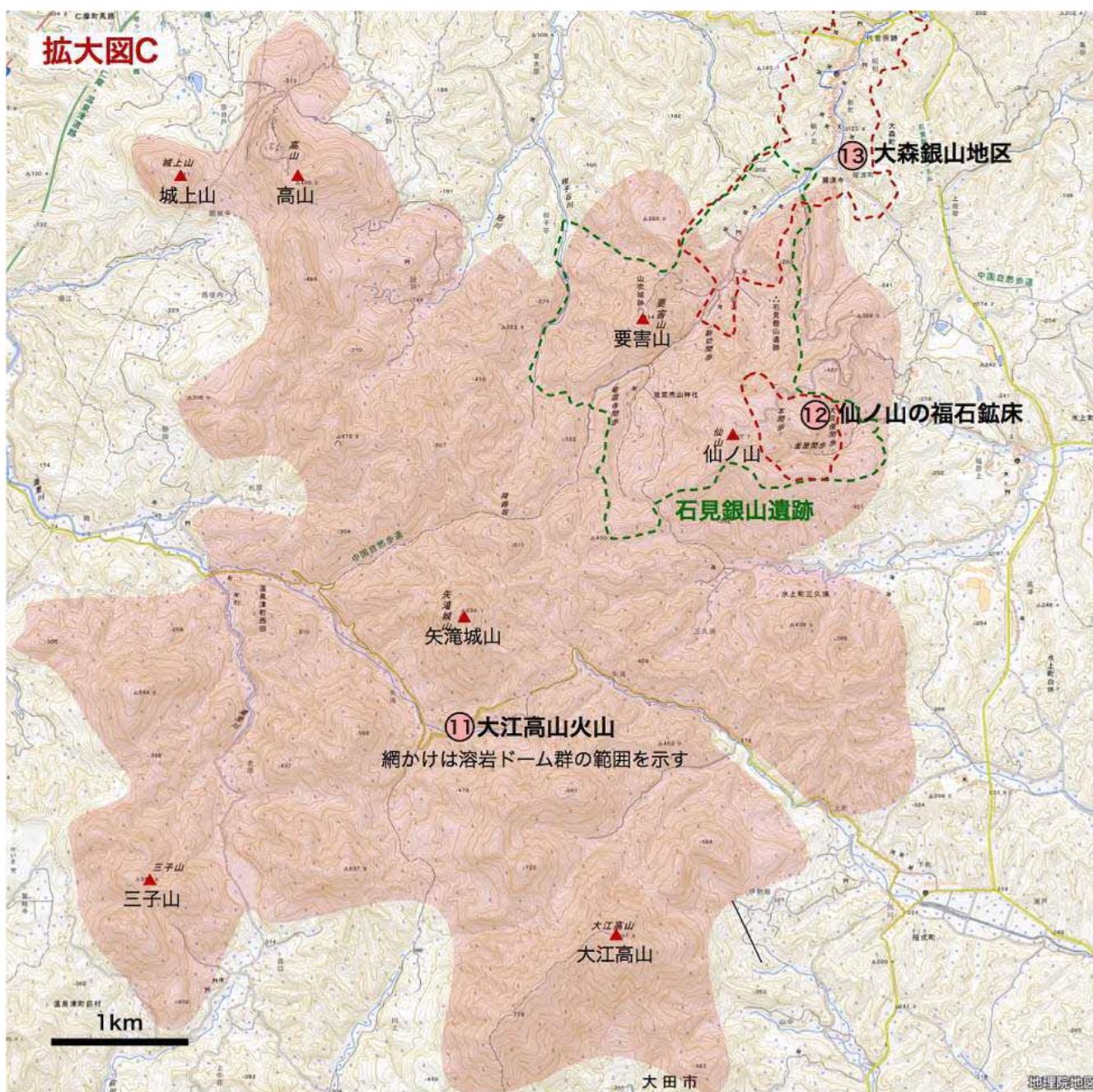
- ・「三瓶溶岩円頂丘群」→「三瓶山」
- ・「立神岩と立神島」→「立神岩」

【地域活性化計画】

実現性に向けて各項目を再度検討し、人材育成の強化や企画立案の充実を図るなど見直しを行った。

市町村の位置図 (地図等)







拡大図F



拡大図G



ストーリー

島根県唯一の活火山・三瓶山^{さんべさん}を有する大田市^{おおだし}。4000年ほどの間沈黙している山ですが、かつてこの地では複数の火山が噴火をくり返していました。最も古い火山活動は日本列島が形成された時代まで遡ります。海底火山の噴火がいくつもの鉱山を生み、この地に鉱工業をもたらしてくれました。約150万年前に起きた大江高山火山^{おおえたかやまかざん}の噴火からは16世紀の世界が注目した石見銀山^{いわみぎんざん}が生まれました。そして約10万年前から縄文時代にかけて爆発的な噴火をくり返した三瓶山は、豊かな土壌を育むと同時に、原始の森の姿をいまに伝えてくれています。石見の火山は自然の脅威とは異なる顔を見せてくれているのです。

太古から現代へ。悠久の時を経て、火山はたくさんのめぐみを私達にもたらしてくれました。島根県大田市では様々な形でその軌跡（キセキ）をたどることができます。

◆現代によみがえる縄文の森

三瓶山の北のふもと小豆原^{あずきはら}の地中深くから見つかった幾本もの巨大な木。約4000年前の三瓶山の噴火により、土砂や火山灰の中に埋もれた縄文時代の木々が、大地に根を張った当時のままの姿で眠っていたのです。発掘された立木はスギやトチノキなど30本にも及びます。

発掘された状態で保存してある地下展示室へ降りていけば、目前に10m以上の巨大な木が現れます。一番太い木の幹は大人4人が手をつないでやっと囲むことができるほど。その太さからかつては50mほどの高さの木々が立ち並んでいたと推定されます。高層マンションほどの高さの壮大な森林を見上げながら、縄文時代の人々は何を思っていたのでしょうか。

この三瓶小豆原埋没林^{さんべあずきはらまいぼつりん}は豊富な地下水により缶詰のような状態で埋もれていたため、いまも生きています。顔を近づければ木の香りが感じられ、根元には落ち葉や種子、コガネムシの仲間と思われる昆虫まで見つかりました。まるでタイムカプセルのように、縄文時代の森の“一瞬”が閉じ込められていたのです。現代によみがえった原始の森、それは火山がもたらしてくれた大きな奇跡（キセキ）なのです。



三瓶小豆原埋没林

◆豊かな暮らしを育んだ三瓶火山

埋没林から地上に戻れば、縄文の森とは対照的に、のどかな里山である三瓶山の光景が広がっています。噴火のあと長い年月が経てば、火山は人々に暮らしやすい環境を与えてくれるという証です。

火山灰が降り積もってできたなだらかな山裾は水はけが良く、牛の飼育に適した広大な牧草地となりました。明治時代には3千頭もの牛が放牧されていたのです。また、この火山性土壌で育てた“三瓶そば”は香りが高く当地の名物となっています。



そば畑から見える三瓶山

山腹には豊かに湧き出す三瓶温泉^{さんべおんせん}があり、火山活動によりせき止められてできた浮布の池^{うきぬのいけ}は万葉歌人の柿本人麻呂^{かきのものひとまろ}が歌を詠んだ地であると言われていいます。



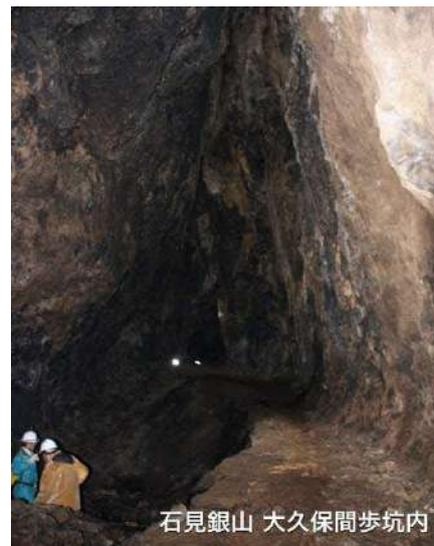
石見一宮 物部神社

噴火口をぐるりと取り囲む三瓶山の峰々は火山ならではの变化に富んだ美しい景観であり、人々はその峰を家族になぞらえて男三瓶^{おさんべ}、女三瓶^{めさんべ}、子三瓶^{こさんべ}、孫三瓶^{まごさんべ}と呼んできました。「出雲国風土記」の国引き神話にも登場する三瓶山は、神宿る地として古くから信仰の対象であり、物部神社^{ものべじん}を はじめとする社寺が山を仰ぎ見るように鎮座しています。

◆火山が生んだ石見銀山

16世紀、ヨーロッパの地図に「銀鉱山王国」と記された石見銀山。世界の歴史に輝く石（キセキ）は、約150万年前、三瓶山の西にある大江高山火山の噴火から生まれました。地下のマグマから銀を含んだ熱水が湧きだした結果、辺り一帯の岩石が福石と呼ばれる銀鉱石へと生まれ変わったのです。石見銀山を有する大森銀山地区は鉱山町として栄え、江戸時代には幕府の直轄領として代官所も置かれました。最盛期には銀を採掘する坑夫や役人など、2万人近い人々が暮らしていたのです。

石見銀山の中心である仙ノ山には、いまでも銀鉱石を採掘した坑道（間歩）が至るところに残っています。なかでも大久保間歩は幅15m、高さが20mにも達する巨大な空間をいまに伝えています。銀が



石見銀山 大久保間歩坑内



弓なりに白砂が続く琴ヶ浜

含まれている石を四方に掘り進めていったらこれほど大きな坑道になりました。いかに多くの銀鉱石がこの山にあったのかを知ることができます。

石見銀山の西にある琴ヶ浜は大江高山火山の火口のひとつとされています。琴ヶ浜の名物である鳴り砂の主成分は火山由来の石英砂であり、弓型にカーブした独特な地形から遥か昔の噴火口を偲ぶことができます。

◆暮らしを支えた火山のめぐみ

約1500万年前に起きた海底火山の噴火は、この地に広くグリーンタフと呼ばれる緑の岩（凝灰岩）の地層をもたらしました。この地層は豊かな鉱物資源を含んでおり、鉱工業は100年にわたって大田市の重要な産業のひとつになっています。

またこの地層から切り出された石材は、江戸時代以前から人々の暮らしに活かされてきました。大森銀山地区では石垣や水路などに切り石が使われ、美しい景観を作っています。

なかでも福光石の石切り場は室町時代から400年以上続く採石場で、かつて手掘りの作業をしていた時代の膨大なノミ跡が残されています。滑りにくい特性があるため、福光石はいまも階段や浴室の床などに使われています。

海底火山の活動はこの地にいくつもの珍しい風景ももたらしました。火山灰でできた巨大な凝灰岩は鬼村の鬼岩と呼ばれています。風に侵食されて空いた穴が鬼の指跡のように見えるため、鬼にまつわる伝説が生まれたのです。波根海岸の立神岩の岩肌には、火山の噴出物による地層がくっきりと現れており、仁摩海岸ではあざやかな緑色をした凝灰岩や、この地層に埋もれて化石となった樹木の珪化木を見ることができます。大田市では数多くの火山活動の軌跡（キセキ）が息づいています。



福光石の石切場の手掘り跡

数千年、百万年、そして1千万年以上前。3つの時代の火山の噴火が、大田市に様々な“キセキ”のめぐみをもたらしてくれました。火山と深い関わりを持って暮らしてきた悠久の歴史がここにあります。

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	ふりがな 文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
◆ 現代によみがえる縄文の森				
①	さんべあずきはらまいぼつりん 三瓶小豆原埋没林	国天然記念物	約 4000 年前の三瓶山の噴火で埋もれた縄文の森。	
②	さんべさん 三瓶山	未指定 (天然記念物)	島根県唯一の活火山。出雲国風土記の国引神話に登場する信仰の山。	
◆ 豊かな暮らしを育んだ三瓶火山				
③	さんべさん ほくやけいかん 三瓶山の牧野景観	未指定 (文化的景観)	三瓶山の山裾に広がる草原景観。火山地形を利用して 400 年以上続けられてきた牧畜の歴史を物語る。	
④	さんべ 三瓶そば	未指定 (無形民俗)	三瓶山の火山性土壌で育てられるそば。江戸時代以来の在来種のそばが受け継がれている。	
⑤	さんべおんせん 三瓶温泉	未指定 (文化的景観)	三瓶山の山腹からわき出る火山性の温泉。江戸時代から温泉地として利用されてきた。	
⑥	うきぬの いけ 浮布の池	未指定 (天然記念物)	三瓶山の噴火でできた湖。柿本人麻呂が万葉集 1249 番歌を詠んだ地とされる。	
⑦	もののべじんじゅ 物部神社	県有形文化財	神宿る地としての三瓶山への信仰を現す神社。三瓶山に関わる神事と伝承を伝える。	
⑧	さひめやまじんじゅ 佐比売山神社と たねかぐら 多根神楽	未指定 (有形文化財) ・ 市無形民俗	三瓶山の古名を残し山への信仰を伝える神社とそこに奉納される神楽。	
⑨	おがさわらりゅうたうえぼやし 小笠原流田植囃子	未指定 (無形民俗)	三瓶山の火山体から湧き出る豊富な地下水は山麓の水田を潤す。水源の山に祈り、豊穡を願う行事として継承されている。	
⑩	まだめまつ 定めの松	未指定 天然記念物	牧野景観が広がる三瓶山西の原に立つ老松。一里塚の上に植えられ樹齢は 400 年以上とされる。	

◆ 火山が生んだ石見銀山				
⑪	おおえたかやまかざん 大江高山火山	未指定 (天然記念物)	約 150 万年前の噴火で石見銀山を作った火山。大江高山 (808m) を最高峰に約 30 個の溶岩ドーム群で構成される。	
⑫	いわみぎんざんいせき 石見銀山遺跡 せんはやま ふくいしこうしよう (仙ノ山の福石鉱床)	国史跡	大江高山火山の噴火によってできた鉱石が、「銀鉱山王国」と記された石見銀山の輝きの源になった。	
⑬	おおもりぎんざん ちく 大森銀山地区	重伝建地区	石見銀山の鉱山町として栄えた町。歴史的な町並みには今も人々の生活がある。	
⑭	ことがはま 琴ヶ浜	国天然記念物	大江高山火山の火口のひとつが入江になり、そこに鳴り砂の浜が弧を描く。	
◆ 暮らしを支えた火山のめぐみ				
⑮	まつしろこうざん あられいしさんち 松代鉱山の霰石産地	国天然記念物	松代鉱山はグリーンタフの地層に含まれる石こうを掘った鉱山で、昭和 40 年代まで地域の産業を支えた。石こうの副産物として産した霰石は世界でも例を見ない形状。	
⑯	ふくみつし いしきりば 福光石の石切場	未指定 (史跡)	約 1500 万年前の火山が作った地層から石を採った石切場。	
⑰	おにむら おにいわ 鬼村の鬼岩	県天然記念物	鬼の伝説が伝わる巨岩。約 1500 万年前の火山活動でできた岩石による特徴的な景観。侵食による形状が特長的。	
⑱	たてがみいわ 立神岩	未指定 (天然記念物)	火山の噴出物による地層がくっきりと現れた海食崖。	
⑲	にま けいかぼく 仁方の珪化木	県天然記念物	鮮やかな緑色をした凝灰岩 (グリーンタフ) に埋もれて化石になった約 1500 万年前の樹木。	
⑳	はねにし けいかぼく 波根西の珪化木	国天然記念物	「仁方の珪化木」とほぼ同じ時代の火山噴火で埋没して化石になった樹木。長さ 10m を超える。	
㉑	しずのいわや 静之窟	市天然記念物	約 1500 万年前の火山噴出物でできた岩盤に開口した大型の海食洞窟。国造り神話の「志都乃石室」の比定地のひとつで、洞窟そのものが静間神社としてまつられてきた。	

⑳	<small>りゅうがんざん たついわ</small> 龍巖山 (龍岩)	未指定 (天然記念物)	約 1500 万年前の火山の芯(火道)が侵食されてできた巨岩。磐座として古くから信仰の対象。	
---	---	----------------	--	--

(※1) 文化財の名称には振り仮名を付けること。

(※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例：国史跡、国重文(工芸品)、県史跡、県有形、市無形、未指定(建造物)、等)。なお、**未指定であっても文化財保護の体系に基づいた分類を記載**すること。

(※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

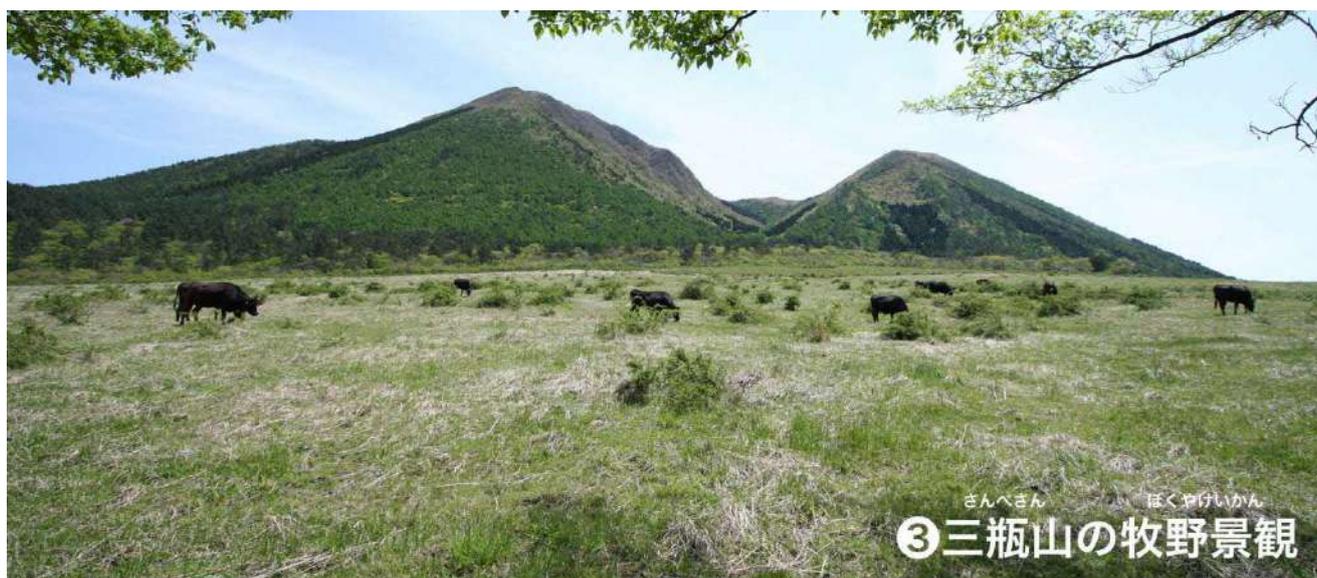
(※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

構成文化財の写真一覧

【現代によみがえる縄文の森】



【豊かな暮らしを育んだ三瓶火山】



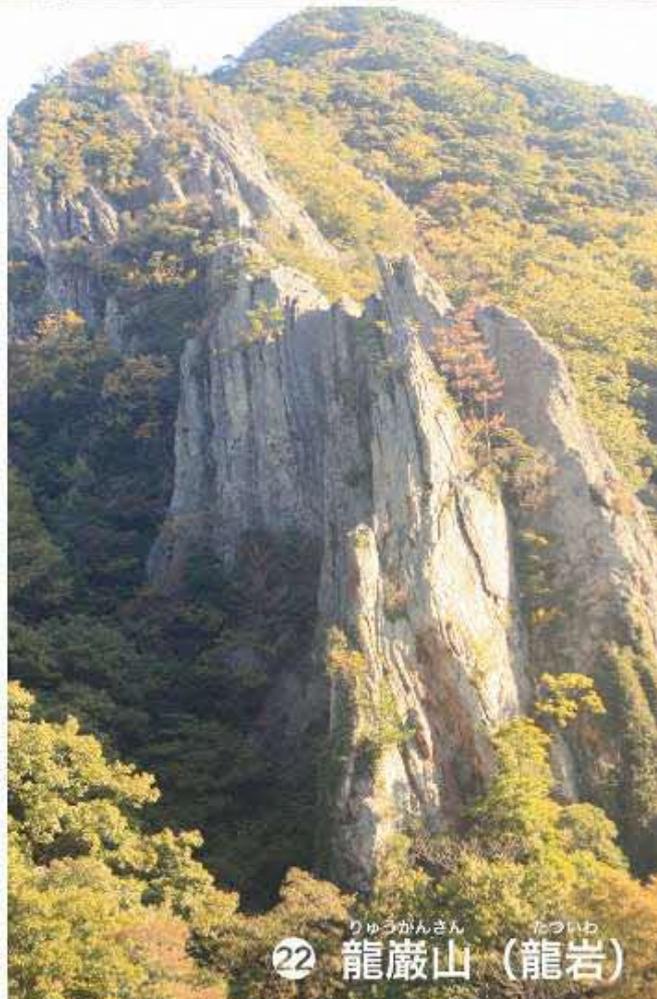
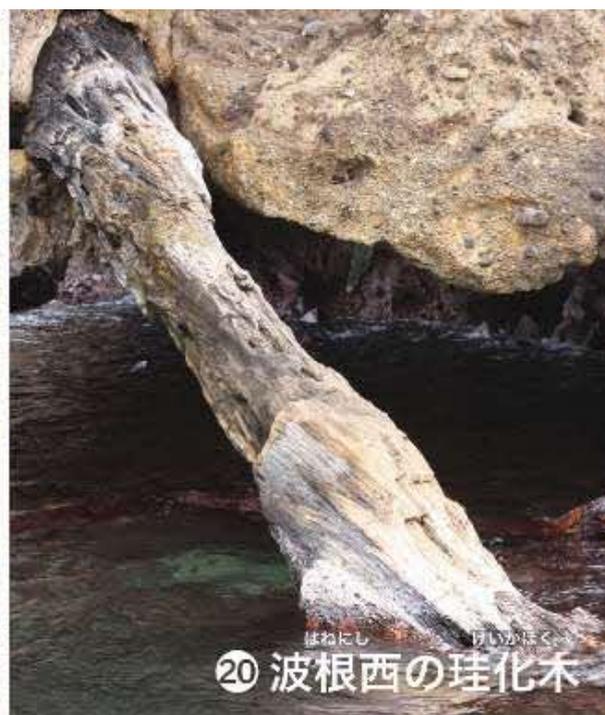


【火山が生んだ石見銀山】



【暮らしを支えた火山のめぐみ】





日本遺産を通じた地域活性化計画

(1) 将来像 (ビジョン)

“子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち おおだ”

これは、当市の総合計画に掲げた大田市が目指すべき将来像です。
歴史と文化に恵まれた「世界遺産」と、自然あふれる「国立公園」を持つ当市は、日本にとどまらず、世界に誇れるまちです。これらは、火山によってもたらされ、人によって育まれた貴重な地域資源であり、市内には数多く存在しています。

一方で、市内に点在する地域資源は、これまでに、それぞれの地域が独自に保全や活用を進めてきました。これらをこの活性化計画により、日本遺産のストーリーによって面としてつなぎ合わせることで、第2次大田市総合計画（令和元年度から8年間）に掲げる地域資源の保全や活用に、市民が一体となって取り組み、魅力を磨きながら、日本遺産の価値を高めることで、当市の新たな可能性に向かってチャレンジしていきます。

日本遺産を訪れる国内外の多くの観光客が地域の人々とふれあい、交流することのできる観光地域づくりに取り組み、日本遺産に関わる全ての人が可能性を感じて夢を抱けるようなまち、そして、子どもたちが自分の住む地域を誇り、自慢できるまちを将来像としています。

既に、DMO組織や市内団体では、「火山活動由来の地域資源」を活用した新たな観光地域づくりや、市民参加のワークショップ、フォーラムを開催、さらには昨年度の日本遺産申請を機に「火山」とのつながりを紹介するパンフレットを作成、配布するなど、日本遺産を活用した地域づくりの機運が高まっています。

この機を逃すことなく、将来像の実現に向けて、

- ①「だれもが主体性を持って次世代につなげる地域づくり」
- ②「だれもが一歩踏み出し、大田の未来を創造する地域づくり」
- ③「ふるさとを愛する気持ちを力に、未来に向かって、みんなで共にあゆむ地域づくり」

の三つを日本遺産を通じた地域活性化の柱に据えて取り組みます。

(2) 地域活性化のための取組の概要

【取り組み方針】

- ・市内に点在する地域資源を、「火山」をキーワードにストーリーで結び付け、巡ることができるようにするため、地域が一体となって対応できる受入体制づくりを行います。
- ・食や宿泊、伝統文化などの各種体験を組み合わせた観光商品づくりを進めます。
- ・教育普及活動や保全活動に組み込み、将来的に定住に結び付けることで、地域の持続可能性を高めます。

①「だれもが主体性を持って次世代につなげる地域づくり」

【事業の一体的な推進】

- ・H31年3月に（一社）大田市観光協会は、DMO候補法人に登録され、観光施設や宿泊、飲食、交通の事業者等や行政が一体となって観光地域づくりに取り組める体制を整えました。
- ・DMO法人に必要な専門的スキルを身につけ、観光地経営のための人材を育成します。
- ・教育普及活動、保全活動は、行政の主導により、関係機関の連携を強化し、将来的に観光地域づくりと一体的に進めます。

【地域資源の魅力と取り組みの発信】

- ・日本遺産の魅力を体験するプログラムなどを作成します。
- ・日本遺産の魅力をまとめたパンフレットに加え、Webサイトの作成や、写真、動画の素材を整えます。
- ・広告活動を強化するため、紙媒体・Web媒体の両面から取り組みます。
- ・日本遺産の価値を伝えるワークショップやフォーラムなどを開催します。
- ・地域で実施される教育普及活動や保全活動の周知を進め、地域内外からの参加につなげます。

②「だれもが一歩踏み出し、大田の未来を創造する地域づくり」

【食・宿泊・伝統文化を活用した観光商品造成と環境整備】

- ・地域内消費を増やすため、地域の素材を活用した商品造成を行います。
- ・「三瓶そば」や「一日漁のアナゴ」などの山海の食資源や、多根神楽を始めとした「石見神楽」などの文化資源は、全国的にも高い評価を受けています。これらの地域資源を組み合わせた独自の観光商品を創り出し、滞在の魅力を感じるプログラムづくりを行います。
- ・日本遺産のストーリーにつながる「癒し」、「健康」、「ゆったりした時間」などを切り口とした、当市の魅力を訴求する商品造成を進めます。

【インバウンドの推進】

- ・歴史的景観と自然景観、そして住民生活と自然が共生している文化的景観を見学するだけでなく、石見神楽の鑑賞や古民家泊などを通じて、地元事業者や地域住民との深い交流ができる体験型旅行商品を造成します。
- ・構成文化財をより深く理解してもらうための施設整備を行い、自然環境内でのアクティビティや自然を活用した素材を軸とした観光商品を充実させます。

【定住の推進】

- ・定住希望者が地域との交流を通じてその魅力を体感できる仕組みにより、定住後も地域に関わりやすい環境をつくります。

③「ふるさとを愛する気持ちを力に、未来に向かって、みんなで共にあゆむ地域づくり」

【次世代へつなぐ教育普及活動】

- ・地域資源の継承のため、市民が日本遺産の価値を理解し、発信できる環境づくりを目指します。
- ・市内各小中学校での「石見銀山学習」や、国立三瓶青少年交流の家などと連携した、日本遺産の構成文化財を活かした各種体験学習プログラムをつくりまます。
- ・ガイド養成を進め、日本遺産の価値を説明できる人材育成に取り組みます。

【地域の持続のための保全活動】

- ・持続可能な地域づくりのため、各地域で取り組まれている保全活動を基盤として、市内全域に拡大します。
- ・行政と地域団体が一体となって、市民参加型での保全活動や自然保護活動を市内外からも参加できる活動に広げていきます。

(3) 自立的・継続的な取組

自立的・継続的な取り組みとするため、1年目を体制準備期、2～3年目を発展期、4～6年目を定着期と位置付け、以下の事業に取り組みます。

【自立・継続に向けた各年の事業概要】

	①組織整備	②戦略立案	③人材育成	④整備	⑤観光事業化	⑥普及啓発	⑦情報発信
時期	活動内容						
1年目 (体制準備期)		① DMO法人に向けた取り組み、ワーキンググループ活動の充実	① 一次産業者や地域住民等、多様な関係者を巻き込み、地域一体で取り組む体制作り	② 客観的なデータに基づいた戦略の策定	② PDCAサイクルによる、地域資源を生かした商品開発や集客を戦略的に進める	③ DMO法人に必要な専門的スキルを身に着け、観光地経営を行うための人材育成	③ ガイドやプレイヤーの育成
		④ 環境整備（老朽化対策、多言語対応、拠点整備等）	⑤ モニターツアーの実施	⑤ 構成文化財を活かした体験型の商品造成や食メニューの開発の検討	⑥ 小中学校や地域を巻き込んだ教育普及活動	⑦ 広報物の制作	
2～3年目 (発展期)		② KPIの達成状況による戦略の見直し	② 多様な関係者の意見を取り入れながら、成功事例ができるよう立案する	③ 地域にとって必要なデータを収集し、DMOで共有し生かす	③ ガイドやプレイヤーの定着、拡大	④ 地域資源の環境整備継続	⑤ 体験型商品や食メニュー等、旅行商品の造成、定着
		⑤ 外国人観光客や教育旅行の誘致、定着	⑥ 保全活動や教育普及活動の市内全域への拡大	⑦ 魅力的な写真や動画を活用し、SNSやHPで随時新鮮な情報を発信する			
4～6年目 (定着期)		② 誰もが主体性を持ち、DMO組織と関わりながら未来を見据えた戦略の策定を行う	③ 専門性を発揮し、地域にも波及させて、地域全体のスキルアップを図る	③ ガイドやプレイヤーの拡大、継続	⑤ 外国人観光客や教育旅行の拡大、継続	⑥ 教育普及活動や保全活動の市内全域での定着	⑦ 受益者負担を定着させ、継続的に情報発信を行う

(4) 実施体制

行政各部局や関係団体が連携することで、観光振興、教育普及、保全など、多分野の取り組みを一体的に進めます。行政内に設ける「日本遺産プロジェクト推進本部」において、行政各部局や関係団体が連携し、多分野の取りまとめ機能を持ちつつ、既存団体間との調整を図ります。また、観光推進については、大田市版DMOの発展とあわせて機能を移管していくことで、将来的に民間主導の一体的な組織へ改編していくことを見込みます。

【全体調整】

○日本遺産プロジェクト推進本部

<構成団体>

行政内関係管理職級および（一社）大田市観光協会、随時有識者、専門家などのアドバイザー

【活用事業実施体制】

○大田市観光戦略会議

<構成団体>

行政、観光事業者、旅館組合、料飲組合、交通事業者、旅行者など

○大田市版DMO事務局

（一社）大田市観光協会

○大田市版DMO ワーキンググループ参加団体

行政、商工会議所、旅館組合、料飲組合、交通事業者、観光事業者、生産流通関係者など

【保全・教育普及事業実施体制】

各団体や行政での取り組みを行うこととあわせて、日本遺産PJ推進本部で情報共有・適宜調整

(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果		定量的評価 :		別紙①のとおり	
期待される効果 :	<p>①「だれもが主体性を持って次世代につなげる地域づくり」 【民間主導による地域一体での観光推進】 これまで地域の関係者全体が一体となり市全域の観光事業に取り組んだ例は少なく、具体例も行政主導によるものでした。DMOを進める上で日本遺産というひとつのテーマに取り組むことは、民間主導による地域一体での実践例となり、将来的な民間自立への機運醸成につながります。 自立への目安として、DMO法人登録を目指します。</p>				
	<p>②「だれもが一步踏み出し、大田の未来を創造する地域づくり」 【観光を始めとした産業振興】 ひとつのストーリーに基づいて多様な地域資源を組み合わせ、日本遺産ブランドとして広く周知し、観光誘客の仕組みを確立し、外国人も含めた観光入込および観光消費増加を目指します。 日本遺産のブランディングを進めることで、観光地として安定的な消費を生み出すことができ、それにより観光産業、農林水産業、飲食業や文化面において定住につながる雇用を生むことができます。</p> <p>【定住の促進】 観光地周辺における定住促進による地域人口の維持を目指します。 日本遺産事業を通じて、地域の魅力を高め、産業振興による新たな雇用を生むことで、定住につなげ、長期的な地域活性が可能となります。</p>				
	<p>③「ふるさとを愛する気持ちを力に、未来に向かって、みんなで共にあゆむ地域づくり」 【教育普及、環境保全面での地域活動の促進】 市内全域で、構成文化財を活用した教育普及活動、保全活動の取り組みを実施します。 日本遺産を題材とした教育、保全等のフィールドワークを通じて、市民を中心とした地域理解や地域持続への関心を高め、地域活動の活性化につなげます。 また、過疎化により将来的な管理体制が危ぶまれる地域資源については、活用・保全を通じた維持管理の環境づくりを行い、長期的な持続が可能となります。</p>				
(6) 日本遺産魅力発信推進事業		別紙②のとおり			
事業費 :	令和2年度 :	26,000千円	令和3年度 :	25,500千円	令和4年度 : 7,500千円
(7) その他事業		別紙③のとおり			

(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ :	日本遺産を活用した集客・活性化
計画評価指標 :	観光客入込み数
具体的な指標 :	大田市の観光客入込数
関連事業 :	(6) ①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ (7) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿5358
目標値 :	平成 30 年度 1,113 千人 ⇒ 令和 7 年度 1,648 千人
設定根拠 :	総合計画における観光客入込数の目標値
設定目標Ⅱ :	日本遺産を活用した集客・活性化
計画評価指標 :	観光客入込み数
具体的な指標 :	大田市の観光客数のうち、外国人観光客宿泊者数
関連事業 :	(6) ①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ (7) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿5358
目標値 :	平成 30 年度 1,235 人 ⇒ 令和 3 年度 3,000 人
設定根拠 :	令和元年度大田市版DMO事業計画に定める目標値
設定目標Ⅲ :	日本遺産を活用した集客・活性化
計画評価指標 :	経済効果
具体的な指標 :	大田市全体における観光消費額
関連事業 :	(6) ①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ (7) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿5358
目標値 :	平成 30 年度 32.1 億円 ⇒ 令和 7 年度 58.0 億円
設定根拠 :	総合計画における観光消費額の目標値
設定目標Ⅳ :	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化
計画評価指標 :	地域の文化に誇りを感じる市民の割合
具体的な指標 :	構成文化財に係る保全活動や教育普及活動の新たな実施数
関連事業 :	(6) ①②③⑦⑧⑨⑩⑪⑫ (7) ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿5152535455565758
目標値 :	令和 元 年度 0 件 ⇒ 令和 7 年度 22 件
設定根拠 :	構成文化財ごとに1件以上の活動がある状態

設定目標Ⅴ：	日本遺産に関する取り組みを行うための持続可能な体制の維持・確立
計画評価指標：	その他
具体的な指標：	日本遺産事業実施組織（大田市版DMO）のDMO登録法人の達成
関連事業：	(6) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ (7) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟
目標値：	平成 30 年度 候補法人化 ⇒ 令和 3 年度 登録法人化
設定根拠：	登録法人の要件は、国の基準において、観光面での専門人材を有し、一定の自立性、継続性を有する組織であること
設定目標Ⅵ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化
計画評価指標：	その他
具体的な指標：	年間UIターン者の数
関連事業：	(6) ③⑦⑧⑨⑪⑫
目標値：	平成 30 年度 847 人 ⇒ 令和 7 年度 1,000 人
設定根拠：	総合計画における定住推進の目標値

※黄色で着色したセルの内容は変更しないでください。

※目標Ⅰ～Ⅳを複数設定する場合は、設定目標～設定根拠までをコピーして欄を増やしてください。

(6) 日本遺産魅力発信推進事業

事業①：	日本遺産認定シンポジウムの開催		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 2 年度
事業費：	令和2年度： 1,500千円	令和3年度： 0千円	令和4年度： 0千円
事業概要：	認定記念のシンポジウムを開催することで、地域住民等に日本遺産の内容等を、広く周知し、誇りが持てる地域資源への認知を図る。		
具体的な指標：	日本遺産認定の認知度		
目標値：	令和 2 年度	0 %	⇒ 令和 7 年度 60 %
事業②：	日本遺産講座（ワークショップ）の開催		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 7 年度
事業費：	令和2年度： 500千円	令和3年度： 500千円	令和4年度： 500千円
事業概要：	構成資産を中心に、市内の文化財等に関する講座を定期的に開催する。その講座は、誰でも参加できるオープン型としながらも、ガイドを目指す人たちの養成講座の一部も兼ねることとする。		
具体的な指標：	日本遺産講座の参加者数（年間延べ人数）		
目標値：	令和 2 年度	100 人	⇒ 令和 7 年度 150 人
事業③：	日本遺産構成要素の地域学習		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 7 年度
事業費：	令和2年度： 500千円	令和3年度： 500千円	令和4年度： 500千円
事業概要：	地域学習：市内の小中学校では、全校が石見銀山学習を毎年実施している。その石見銀山学習に加えて、各学校校区における地域学習、市内全域の地域学習を兼ねた日本遺産学習を行う。 三瓶青少年交流の家における学習：施設を利用する学生を対象とした体験プログラムとして、日本遺産学習プログラムを実施する。また、社会人の研修プログラムとしては、文化財の保全活動として、石見銀山遺跡の清掃や草刈り、三瓶山登山道整備などを体験する。		
具体的な指標：	日本遺産地域学習の参加者数		
目標値：	令和 2 年度	500 人	⇒ 令和 7 年度 1,000 人
事業④：	日本遺産に関する商品化のためのワークショップ		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 7 年度
事業費：	令和2年度： 1,000千円	令和3年度： 3,000千円	令和4年度： 2,000千円
事業概要：	日本遺産の構成資産を組み合わせたツアー造成や体験プログラム、関連地域での食・土産・宿泊などの商品化のためのワークショップを開催する。		
具体的な指標：	日本遺産を活用した旅行商品開発数（日本遺産の冠を使用または複数の構成資産を活用）。旅行会社の新規造成商品およびDMO自身が企画する新規造成商品の数。		
目標値：	令和 2 年度	2 件	⇒ 令和 7 年度 12 件

事業⑤：日本遺産ガイドの養成			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 31 年度 ~ 令和 7 年度
事業費：	令和2年度： 500千円	令和3年度： 500千円	令和4年度： 500千円
事業概要：	本市には、18年におよぶ歴史と実績を有する「石見銀山ガイドの会」や、福光石切場のガイドのように既に機能しているガイドはあるが、日本遺産ガイド体制としては十分でないため、ガイドの養成を行う。 構成資産の概論は、日本遺産講座で学び、接遇（ガイド技術含む）についての養成講座を開催する。 養成課程は、1.2年目が概論及び接遇講座、3年目以降は各地域（市内7ブロック）単位による構成要素別の講座を開催し、地域ごとで活動ができる体制を構築する。		
具体的な指標：	ガイド育成講座修了者の後年度活動者数		
目標値：	令和 2 年度	0 人	⇒ 令和 7 年度 35 人
事業⑥：日本遺産観光地経営をするための人材育成（専門的知識）			
事業区分：	人材育成	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業費：	令和2年度： 2,000千円	令和3年度： 1,000千円	令和4年度： 1,000千円
事業概要：	日本遺産を活用し、観光地域づくりを進めるため、マーケティング、プロモーション、旅行商品造成販売の専門性を身につけ、地域のかじ取り役として、観光産業の発展に寄与する。		
具体的な指標：	日本版DMO法人に必要な専門員		
目標値：	令和 2 年度	0 人	⇒ 令和 4 年度 3 人
事業⑦：日本遺産ビジターセンター展示施設等整備			
事業区分：	公開活用のための整備	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 3 年度
事業費：	令和2年度： 2,000千円	令和3年度： 1,000千円	令和4年度： 0千円
事業概要：	「三瓶小豆原埋没林公園」、「石見銀山世界遺産センター」、「仁摩サンドミュージアム」に日本遺産ビジターセンター機能を持たせ、展示や来訪者への案内を行う。日本遺産ビジターセンターでは、構成資産のパネル等の展示を行い、わかりやすく説明できる環境を整える。その他に、4つ（久利、久手、波根、温泉津）のまちづくりセンター内に紹介パネルやリーフレットを設置し、構成資産を紹介するサテライト機能を持たせる。		
具体的な指標：	日本遺産ビジターセンターへの入館者数		
目標値：	令和 2 年度	113,013 人	⇒ 令和 7 年度 124,276 人
事業⑧：日本遺産周辺案内板の設置事業			
事業区分：	公開活用のための整備	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 3 年度
事業費：	令和2年度： 500千円	令和3年度： 4,000千円	令和4年度： 千円
事業概要：	日本遺産の構成文化財に案内・説明看板を設置する。また観光客の周遊性向上を図るための看板も設置する。		
具体的な指標：	日本遺産ビジターセンターにてアンケートを行い、日本遺産構成資産についての理解が深まった		
目標値：	令和 2 年度	20 %	⇒ 令和 7 年度 80 %

事業⑨：	日本遺産公開のための安全対策事業			
事業区分：	公開活用のための整備	事業期間：	令和 2 年度 ~	令和 4 年度
事業費：	令和2年度： 1,000千円	令和3年度： 500千円	令和4年度：	500千円
事業概要：	構成資産にある「静之窟」、「鬼村の鬼岩」などは、危険箇所や安全対策が十分でない場所もあるため、公開にあたり、対策が必要な状況である。 また、三瓶小豆原埋没林公園も同様に、整備が不十分であるため、整備が必要である。			
具体的な指標：	日本遺産ビジターセンターにてアンケートを行い、日本遺産構成資産についての満足度割合			
目標値：	令和 2 年度	30 %	⇒	令和 7 年度 80 %
事業⑩：	日本遺産解説本・パンフレット等の作成			
事業区分：	情報発信	事業期間：	令和 2 年度 ~	令和 3 年度
事業費：	令和2年度： 1,000千円	令和3年度： 1,000千円	令和4年度：	0千円
事業概要：	日本遺産認定の構成資産には、国、県、市の指定文化財が多くあり、また本市固有の鉱物資源等、誇れる地域資源がたくさん含まれているため、その解説本を作成し、普及啓発を図る。併せて、小学生などにもわかりやすくした日本遺産カードを作成し地域資源の普及啓発を図る。 また、市内観光情報を記載した既存パンフレットに日本遺産の情報を追加し、改訂する。			
具体的な指標：	日本遺産の認知度			
目標値：	令和 2 年度	0 %	⇒	令和 7 年度 60 %
事業⑪：	日本遺産PR大田市観光ホームページの改修			
事業区分：	情報発信	事業期間：	令和 2 年度 ~	令和 3 年度
事業費：	令和2年度： 1,000千円	令和3年度： 5,000千円	令和4年度：	0千円
事業概要：	日本遺産の構成要素などを詳しく紹介する解説ホームページを製作する。また、製作にあたっては閲覧者の利便性を考慮し、既に流入経路が確立されている大田市観光サイト等を改良し、特設ページを設ける形とする。併せて、外国人に対しての情報発信を強化するため、英語、フランス語、簡体字等の多言語化を行う。			
具体的な指標：	日本遺産紹介ページへアクセスした年間ユニークユーザー数			
目標値：	令和 2 年度	0 UU	⇒	令和 7 年度 40,000 UU
事業⑫：	プロモーション用写真、映像の制作・広告実施			
事業区分：	情報発信	事業期間：	令和 2 年度 ~	令和 4 年度
事業費：	令和2年度： 14,500千円	令和3年度： 8,500千円	令和4年度：	2,500千円
事業概要：	視覚的に当市の魅力を訴求する写真や動画が現在ないことから、日本遺産の構成要素を含む当市の観光地をPRする、プロモーション用写真や映像を年間通じて撮影する。また、写真はHPの掲載や、紙媒体でのPRに使用し、映像は、HPやブース出展に使用する3分、外部営業時に使用する1分半、web広告用に30秒の3バージョンを制作する。			
具体的な指標：	動画サイト等での映像再生数（期間のべ数）			
目標値：	令和 2 年度	0 回	⇒	令和 7 年度 90,000 回

(7) その他事業

事業①：	地方創生推進交付金事業（三瓶山ヘルスツーリズム）		
実施主体：	内閣府	事業期間：	平成 29 年度 ~ 令和 元 年度
事業概要：	国立公園三瓶山の地形や気候を活用した、ウォーキングやトレッキングを行い、心身を健康に保ち、地域食材を使用した健康的な食事をとるヘルスツーリズムの取り組みや、イベントなどを数箇所の民間団体が協力して行っている。		
事業②：	地方創生推進交付金事業（琴ヶ浜ヘルスツーリズム）		
実施主体：	内閣府	事業期間：	平成 29 年度 ~ 令和 元 年度
事業概要：	鳴り砂を歩く楽しさや裸足で海岸線を歩くことで冷刺激、筋力刺激が得られ、また地元の食材をふんだんに使用した健康食を提供するヘルスツーリズムの取り組みや、イベントなど、数箇所の民間団体が協力して行っている。		
事業③：	地方創生推進交付金事業（国立公園満喫プロジェクト）		
実施主体：	内閣府	事業期間：	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度
事業概要：	商材作成やニーズ調査などにより基盤を整備し、三瓶山の持つ魅力を一層引き出すプログラムの開発やプロモーションを行い、国内外からの誘客を図る。一方で、民間主導での観光地域づくりを進めるために、観光関係団体・宿泊施設・飲食物販業者などが連携した「さんべエリアツーリズムネットワーク」による動きを活発化させる。		
事業④：	国有文化財管理補助事業		
実施主体：	文化庁	事業期間：	平成 元 年度以前 ~ 令和 年度
事業概要：	国天然記念物【波根西の珪化木】の管理のため、巡視員による巡視を行う。		
事業⑤：	文化財保存団体等活動補助事業（保全）		
実施主体：	市	事業期間：	平成 元 年度以前 ~ 令和 年度
事業概要：	市天然記念物【静之窟】は、地元団体「静之窟を守る会」による、保護、保存、活用を図る取り組みへ支援を行う。		
事業⑥：	文化財保存団体等活動補助事業（保全）		
実施主体：	市	事業期間：	平成 20 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	県天然記念物【鬼村の鬼岩】には、鬼がつかんだ跡とされる5つの穴があり、観音様やお地蔵さまが祭られて、地元団体「ふるさとおにむらづくり実行委員会」により、8月には「鬼岩交流会」が開催されている。また、草刈りや植樹を行い大切に保存継承されている。		
事業⑦：	文化財保存団体等活動補助事業（伝統）		
実施主体：	市	事業期間：	平成 元 年度以前 ~ 令和 年度
事業概要：	国天然記念物【琴ヶ浜】は、市民にとって身近な場所であり、日常的に行なわれている清掃活動のほか、地域、各種団体により清掃活動が行なわれている。また、江戸時代初期から続く伝統行事「盆踊り」や「町民運動会」が開催されている。		
事業⑧：	文化財保存団体等活動補助事業（愛護少年団）		
実施主体：	市	事業期間：	平成 元 年度以前 ~ 令和 年度
事業概要：	「三瓶自然林愛護少年団」「石見銀山遺跡愛護少年団」「珪化木愛護少年団」など、愛護少年団による保護、保全、清掃活動への支援を行う。		

事業⑨：	島根大学公開講座（出前講座）		
実施主体：	島根大学	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度
事業概要：	平成29年度に国天然記念物に指定された琴ヶ浜で、未来に向けて地域の宝として自然景観を守りつづけ、この地域の海の恵みと暮らし、地域の文化とのかかわりを探り、地域生活の在り方を考える講座を開催した。		
事業⑩：	公益財団法人ごうぎん島根文化振興財団助成事業（創作音楽劇：琴の鳴る浜）		
実施主体：	公益財団法人ごうぎん島根文化振興財団	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度
事業概要：	琴ヶ浜の国天然記念物指定記念として、創作音楽劇を上演した。地元の馬路地区に伝わる伝説をモチーフとした創作劇であり、地元からも多数の参加があり、琴ヶ浜の価値を広く伝える活動となった。		
事業⑪：	文化財クリーン事業（クリーン三瓶）		
実施主体：	実行委員会	事業期間：	平成 元 年度 以前 ～ 令和 年度
事業概要：	三瓶山の自然を愛する団体やボランティアが参加し、国立公園三瓶山で清掃活動を行っている。ゴミのない美しい自然の維持を図るとともに、美化意識の高揚と自然保護意識の普及を図る取り組みを行っている。		
事業⑫：	文化財クリーン事業（クリーン銀山）		
実施主体：	実行委員会	事業期間：	平成 10 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	地元団体やボランティアが参加し、石見銀山遺跡の環境保全を目的に清掃などの作業を行い、美化意識の高揚と自然保護意識の普及を図る取り組みを行っている。		
事業⑬：	三瓶高原クロスカントリー大会他		
実施主体：	市、実行委員会	事業期間：	平成 8 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	国立公園「三瓶山」の裾野に広がる緑の絨毯（天然芝）である三瓶高原クロスカントリーコースは、県内外から参加するクロスカントリー大会や県内の大会など幅広く活用している。		
事業⑭：	国立公園三瓶山山開き		
実施主体：	実行委員会	事業期間：	平成 元 年度 以前 ～ 令和 年度
事業概要：	春の行楽シーズンに合わせて行なわれる三瓶山山開きの神事では、三瓶登山される方々の安全を祈り、また、様々な楽しみ方ができる三瓶山が、多くの人で賑わうことを祈願している。		
事業⑮：	三瓶温泉街のおまつり事業（ふうりんおんせん、さんべ志学の雪あかり）		
実施主体：	実行委員会	事業期間：	平成 22 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	夏には三瓶温泉街に風鈴を飾りつけ、夜には手持ち花火大会、また、冬には小さなかまくらにキャンドルを灯すイベントが行なわれ、地域の活性化を図っている。		
事業⑯：	国立公園三瓶山西の原火入れ		
実施主体：	実行委員会	事業期間：	平成 元 年度 以前 ～ 令和 年度
事業概要：	三瓶山西の原の33haの草原に、早春の風物詩である「牧野景観の火入れ」が行なわれ草原を焼き尽くし、5月頃に若草が芽生え鮮やかな緑の絨毯になるなど、草原の維持に努めている。		
事業⑰：	天空の朝ごはんin三瓶		
実施主体：	地元企業	事業期間：	平成 28 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	三瓶山の山頂の一つ、大平山を会場にして、日の出の1時間前の暗闇の中、山頂へ特別運行リフトで登り、日の出を鑑賞しながら贅沢な朝ごはんを楽しむ企画を行っている。		

事業⑱：	天空の朝ごはんin大森		
実施主体：	地元企業	事業期間：	平成 30 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	石見銀山にある朝日を浴びた山吹城の主郭から、日本海や三瓶山の雲海を眺め、新鮮な空気を吸いながら、美味しい朝ごはんを楽しむ企画を行っている。		
事業⑲：	さんべそば祭り、さんべ新そば祭り		
実施主体：	地元そば推進会議	事業期間：	平成 29 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	江戸時代から伝わる「さんべ在来種のそば」は、高原気候が育む風味豊かなそばの味を守り続けており、その味を楽しめるさんべそば祭りを三瓶のそば職人と栽培農家が企画し開催している。		
事業⑳：	三瓶さくら祭り		
実施主体：	地元	事業期間：	平成 28 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	小さい町の小さい力が協力して、桜の植樹を行い、10年以上にわたり地元住民、小中学生、企業により大切に手入れされてきた。今では、6000本の桜の里となり、さくら祭りが開催されている。		
事業㉑：	福光石の石切場見学ガイドツアー		
実施主体：	NPO法人石見ものづくり工房	事業期間：	平成 27 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	石町時代から続いて現在も作業が行なわれている福光石の採石場での壮大な地下空間を、ガイド付きで見学できるツアーを実施している。		
事業㉒：	大久保間歩見学ツアー		
実施主体：	市	事業期間：	平成 24 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	石見銀山の坑道跡の中でも最大級の規模を誇る「大久保間歩」は、ガイド付きツアーのみが入坑を許される限定ツアーで、ツアーは週末に実施している。		
事業㉓：	連続講座「石見銀山争奪の歴史」		
実施主体：	市内公民館	事業期間：	平成 29 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	市内の公民館が連携して各地域で関係する講座を座学とフィールドワークを計7回開催している。		
事業㉔：	高山地域めぐり		
実施主体：	高山公民館	事業期間：	平成 25 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	地域住民グループが作成したマップを使い、地域全体に広がっている世界遺産「石見銀山遺跡」の価値や保存・継承の必要性について認識を図る。		
事業㉕：	まちめぐりウオーク		
実施主体：	三瓶公民館	事業期間：	平成 25 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	三瓶地域の文化財などを巡るウオークを行い、地域住民や子ども達へ歴史文化を伝承している。		
事業㉖：	仁摩の郷子ども塾「親子でふるさと再発見」		
実施主体：	仁摩公民館	事業期間：	平成 25 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	県文化財「仁万の珪化木」等を巡り、地元の歴史・文化を学び保全活動に努めている。		
事業㉗：	「波根西珪化木周辺探訪」事業		
実施主体：	市文化協会	事業期間：	平成 28 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	地域の魅力について再認識を図る（ガイドの説明を聞きながら巡る）。		

事業⑳：	利用団体への「三瓶登山プログラム」提供		
実施主体：	国立三瓶青少年交流の家	事業期間：	平成 元 年度 以前 ～ 令和 年度
事業概要：	主に学校団体利用者に対して、国立公園三瓶山への登山プログラムを継続して提供している。必要に応じて、登山指導員や研修指導員を手配するなど、植生等の自然学習や地域の伝説等の紹介を行っている。		
事業㉑：	利用団体への「石見銀山プログラム」提供		
実施主体：	国立三瓶青少年交流の家	事業期間：	平成 28 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	学校団体利用者に対して、熊谷家住宅での「昔の生活体験」、大森銀山地区の町並み散策、間歩見学を1日で体験する内容を企画し、提供している。		
事業㉒：	募集型「さんべまるごと体験」事業		
実施主体：	三瓶地域協育ネットワーク	事業期間：	平成 27 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	三瓶エリアの自然の中で年3回活動を提供している。西の原での連凧やスナッグゴルフ、ナイトハイク。また、地域の生産者の方々と連携し、子どもたちに牧場体験、ヤマメの手づかみ体験、ものづくり体験など様々な体験活動を提供している。		
事業㉓：	募集型「三瓶で楽しむ歩くスキー」事業		
実施主体：	三瓶地域協育ネットワーク	事業期間：	平成 元 年度 以前 ～ 令和 年度
事業概要：	1月～2月末にかけて年間4回程度実施している。冬の三瓶の自然にふれながら、歩くスキーの体験を通じて、三瓶地域の自然に対する興味・関心を育てる事業を実施している。		
事業㉔：	募集型「三瓶で夏体験!! バウムクーヘンづくり」事業		
実施主体：	三瓶地域協育ネットワーク	事業期間：	平成 29 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	夏の三瓶の自然にふれながら、アウトドアクッキング体験を通じて、三瓶地域の自然に対する興味・関心を育てる事業として年3回実施している。		
事業㉕：	募集型「キラリ、三瓶! 夏キャンプ」		
実施主体：	国立三瓶青少年交流の家	事業期間：	平成 26 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	徒歩で沖泊から「やなしお道」を歩き、三瓶温泉街近くまでテント泊を重ねながら、6泊7日の長期キャンプを実施している。夏の自然にふれあい、最終的には三瓶山登山を行うなど様々な活動に挑戦することで、自ら困難に立ち向かう力を育成する。		
事業㉖：	「さんべ祭」		
実施主体：	国立三瓶青少年交流の家	事業期間：	平成 元 年度 以前 ～ 令和 年度
事業概要：	地域の方々との連携をより強めることを目的として、毎年開催されるイベント。出店者による郷土料理の提供や多根神楽団などによる石見神楽上演など地域の特色を満載したイベントである。		
事業㉗：	「かかしまつり」		
実施主体：	三瓶地域協育ネットワーク	事業期間：	平成 27 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	子ご美の里と連携し、三瓶の自然を感じるとともに、古民家体験や豆腐作り体験を実施している。		
事業㉘：	「おいしいこんにやく作りましょう」		
実施主体：	三瓶地域協育ネットワーク	事業期間：	平成 27 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	年3回、農事組合法人百姓天国と連携して、三瓶の豊かな自然の恵みを受けて、すくすくと育ったコンニャク芋と岩清水によるコンニャク作りにチャレンジする事業。		

事業⑳：	「さんベコメ作り体験ツアー」「三瓶稲刈り体験ツアー」		
実施主体：	三瓶地域協育ネットワーク	事業期間：	平成 27 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	5月、9月に三瓶米作り体験ツアー実行委員会と連携して実施している。田植え、稲刈りに加え、三瓶エリアの自然を満喫してもらうため連風体験や地元食材を食すそば打ち体験などを行っている。		
事業㉑：	三瓶米づくり体験ツアー		
実施主体：	実行委員会	事業期間：	平成 21 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	三瓶の自然体験を通して、三瓶の良さを知ってもらい、交流人口、定住人口の促進を図る取り組みを行っている。		
事業㉒：	波根西の珪化木等の清掃		
実施主体：	地元まちづくりセンター	事業期間：	平成 21 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	波根西の珪化木等はエコツーリズムを巡る滞在場所として注目を集めている。自然環境の保全、美化活動と地域資源を再確認する活動の一環として住民による清掃活動を行っている。		
事業㉓：	着地型旅行商品造成支援事業		
実施主体：	石見観光振興協議会	事業期間：	平成 25 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	地元旅行会社による石見の観光素材を活用した着地型旅行商品の造成及びセールス・送客を行っている。		
事業㉔：	石見地域インバウンド対策事業		
実施主体：	石見観光振興協議会	事業期間：	平成 27 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	インバウンドに対応するための環境整備や情報発信を行っている。		
事業㉕：	新たな顧客づくり支援		
実施主体：	石見観光振興協議会	事業期間：	平成 27 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	石見ならではの魅力的な滞在・体験型の観光商品の新たな取り組みや新たな顧客獲得の取り組み支援を実施している。		
事業㉖：	JR「あめつち」大田市内観光モデルコース		
実施主体：	JR西日本	事業期間：	平成 30 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	山陰ならではの「古くて新しい日本」を発見する旅を演出する観光列車「あめつち」に大田市内（三瓶小豆原埋没林公園、石見銀山）の周遊コースを商品化するための取り組み。		
事業㉗：	石見銀山学習		
実施主体：	大田市内小中学校他	事業期間：	平成 23 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	石見銀山遺跡の魅力やその価値などについて学び、郷土への愛着と誇りを高めることを目的として実施している。		
事業㉘：	神楽公演（神楽大会）		
実施主体：	実行委員会他	事業期間：	平成 元 年度以前 ~ 令和 年度
事業概要：	多根神楽は、佐比売山神社での7年に1度の大元神楽を奉納するほか、市内をはじめ国内外への神楽講演などに多数参加し地域に貢献している。		
事業㉙：	地域資源活用ワークショップの開催（10月開催）		
実施主体：	市	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度
事業概要：	国立公園三瓶山や世界遺産石見銀山遺跡をはじめ、天然記念物や指定文化財など、市内には多種多様な地域資源があり、この資源を有効に活用するためのワークショップを開催した。		

事業④⑦：	市民フォーラムの開催（2月開催）		
実施主体：	市	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度
事業概要：	火山活動に由来する地域資源を構成文化財とした日本遺産の認定に向け、地域が主体となった取り組みの促進や市内の機運醸成に向けてフォーラムを開催した。		
事業④⑧：	石見グランフォンド		
実施主体：	NPO法人サイクリストビュー	事業期間：	平成 21 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	久手町海水浴場を発着場として、国立公園三瓶山や世界遺産石見銀山遺跡など市内外を通るコースに大勢の参加者により開催されている。		
事業④⑨：	石見銀山基金事業		
実施主体：	NPO法人石見銀山協働会議	事業期間：	平成 23 年度 ～ 令和 年度
事業概要：	石見銀山遺跡の保全・活用に関わる各種事業と児童生徒の石見銀山学習を民間の寄付と行政の拠出金で設置した基金を活用して実施している。		
事業⑤⑩：	穴（ANA）ツアー		
実施主体：	地元同好会	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度
事業概要：	市内の地下資源（穴）を巡り、昼食には、地元の鮮魚「穴子丼」を食べる、穴（ANA）ツアーを実施した。		
事業51：	各小学校での希少動植物保全活動		
実施主体：	各小学校	事業期間：	平成 元 年度 以前 ～ 令和 年度
事業概要：	北三瓶小学校（オキナグサの育苗・植栽活動）、志学小学校（ユウスゲの育苗・植栽活動）、池田小学校（ヒロハノカワラサイコの育苗・植栽活動）、静間小学校（ハマナスの保全活動）、久手小学校（ミナミアカヒレタビラの保全活動）、高山小学校（ギフチョウ、イズモコバイモの保全活動）で、それぞれ取り組みを行っている。		
事業52：	定めの松樹勢回復事業		
実施主体：	市	事業期間：	平成 元 年度 以前 ～ 令和 年度
事業概要：	年間を通じて、専門業者に委託し、定めの松の樹勢回復事業（松くい虫防除、菌根菌肥料散布等）を実施している。		
事業53：	海から見る地域資源		
実施主体：	地元同好会	事業期間：	令和 元 年度 ～ 令和 元 年度
事業概要：	海岸沿いにある火山由来の地域資源を海から眺め、活用策を検討するために実施した。		
事業54：	キャンドルナイトin波根		
実施主体：	地元協議会	事業期間：	令和 元 年度 ～ 令和 元 年度
事業概要：	構成文化財となっている地域で環境保護や地域振興を進めるために実施した。		
事業55：	浮布の池の環境を守ろう研修会		
実施主体：	地元推進委員会	事業期間：	令和 元 年度 ～ 令和 元 年度
事業概要：	構成文化財となっている地域で環境保護や地域振興を進めるために研修会を実施した。		

事業56 :	自然講座 火山からの贈り物		
実施主体 :	公益財団法人しまね自然と環境財団	事業期間 :	令和 元 年度 ~ 令和 元 年度
事業概要 :	火山から贈られた「宝物」の成り立ちや、人の暮らしとの関わりについての講座を開催した。		
事業57 :	琴ヶ浜にかかるビーチクリーナーによる浜清掃作業業務		
実施主体 :	市	事業期間 :	平成 30 年度以前 ~ 令和 年度
事業概要 :	年間を通じて地元団体に委託し、ビーチクリーナー等による砂浜の清掃作業を実施している。		
事業58 :	地域の資源を活かすシンポジウムの開催		
実施主体 :	市	事業期間 :	令和 元 年度 ~ 令和 元 年度
事業概要 :	地域資源を活用した地域活性化を市民の皆さんと考えるシンポジウムを開催する。		
事業59 :			
実施主体 :		事業期間 :	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要 :			
事業60 :			
実施主体 :		事業期間 :	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要 :			